

報告第2号

第34回岩内町地域公共交通活性化協議会の結果について

令和6年3月21日に開催した、第34回岩内町地域公共交通活性化協議会の結果について、下記のとおり報告します。

記

日時 令和6年3月21日（木） 13:30～14:30
場所 岩内町役場庁舎 3階 委員会室
出席者 26名中 19名出席（うち代理出席3名）

1. あいさつ 手塚会長

2. 報告事項

- ・報告第1号 岩内町地域公共交通活性化協議会委員の変更について
- ・報告第2号 第32回及び第33回岩内町地域公共交通活性化協議会の結果について
- ・報告第3号 令和5年度いわない循環バス「ノッタライン」の運行状況について
- ・報告第4号 令和5年度円山地域乗合タクシーの利用状況について
- ・報告第5号 岩内町地域公共交通計画登載事業の進捗状況について
- ・報告第6号 令和6年度いわない循環バス「ノッタライン」の運行について
- ・報告第7号 令和6年度円山地域乗合タクシーの運行について

《質疑》

- ・「ノッタライン」の乗車人員が前年比1,055名の減少。理由の分析は。
⇒町全体の人口減少の影響によるゆるやかな減少と分析している。
- ・2年後の義務教育学校開設時「ノッタライン」のスクールバス運行の検討状況は。
⇒教育委員会からの要請を受け子どもたちの通学状況を踏まえ協議会で協議していく。
- ・「ノッタライン」一便当たりの乗車人数、7便、8便の利用者が少ない。利用しやすさなどについて、利用者から意見は出ているのか。
⇒ダイヤの要望は出ていない。住民ニーズに合わせた修正も検討するべきと認識している。
- ・「円山地域乗合タクシー」1月の利用者が落ち込んでいる原因の分析は。
⇒実証運行時より冬期は減少傾向。天候の影響でメインユーザーである温泉利用者の乗車増減があると分析している。
- ・「円山地域乗合タクシー」について、バス停まで遠い方もいる。ドアtoドアのデマンド交通へ切り替える検討の有無は。
⇒現状はドアtoドアの部分は町内タクシー事業者に担っていただく考え。今後乗務員不足も懸念されていることから、町の交通網全体で考える必要がある。調査を進めて導入のタイミングや仕組みを考えていきたい。
- ・タクシー不足という現状。地域の事業者の効率化にもなる。デマンド交通に期待している。地域の交通インフラを守る意味もある。期待している。
⇒デマンド交通の有無だけでなく、町内のバス、神恵内線、寿都線などの問題など地

域公共交通全体を考える中でデマンド交通を考えたい。町全体の交通網にとってどういう体制が良いか調査を進めたい。その上で協議会の中で委員の意見をお聞きしたい。

4. その他

《意見・要望》

な し